

2025 CHALLENGE!

フードロス削減 アイデア コンテスト

保存技術を広く活用するためのアイデアや
フードロス削減につながる
これまでにない独創的なアイデアを
高校生・高等専門学校生に募集します。
楽しいアイデアをお待ちしております！

challenge the no foodloss idea contest

高校生・高専生のアイデアで、フードロス問題の解決へ。

部門

1 プラチナ触媒を活用したフードロス削減に資する実証アイデア

部門

2 フードロス削減につながるこれまでにない独創的な実証アイデア

プラチナ触媒とは、北海道大学触媒科学研究所の福岡淳特任教授らが開発した低温環境下 (0℃) でエチレンを完全酸化する技術です。

エチレンは、野菜や果物から発生し、熟成や腐敗を促進する植物ホルモンの1つです。プラチナ触媒でエチレンガスを酸化させ除去することにより、野菜などの鮮度保持につながります。

このプラチナ触媒の技術は、2013年に論文で発表され、家庭用冷蔵庫などにも利用されています。

参加条件

全国の高等学校または高等専門学校に在学する生徒のグループ。
なお、高等専門学校にあっては、3年生までを中心とするグループとします。

応募方法

部門
1

【第1次募集】2025年5月30日(金)17:00まで
【第2次募集】2025年6月30日(月)17:00まで

部門
2

【募集】2025年6月30日(月)17:00まで

下記の提案書を「no-foodloss.challenge@fmi.hokudai.ac.jp」にメールにて提出してください。



提案書は、QRコードまたはURLよりHPにアクセスし、ダウンロードしてください。

* 応募書類は返却しませんのでご了承ください。

https://www.mcip.hokudai.ac.jp/about/organization/society_regional_region_emergence/foodloss/details---id-390.html

◎主催：フードロス削減コンソーシアム ◎共催：北海道(予定)、北海道大学、北海道大学 COI&NEXT

◎後援：北海道教育委員会(予定) ◎お問い合わせ：北海道大学 産学・地域協働推進機構 社会・地域創発本部内 フードロス削減コンソーシアム事務局 鳥羽・五十嵐

TEL 011-706-9602 Mail no-foodloss.challenge@fmi.hokudai.ac.jp HP https://www.mcip.hokudai.ac.jp/about/organization/society_regional_region_emergence/foodloss/

2025 CHALLENGE!

フードロス削減アイデアコンテスト

実施方法

部門1

締切ごとに一次審査（書類審査）を行います。採択グループにプラチナ触媒を貸与しますので、プラチナ触媒を活用してアイデアを実証し、その成果を5分程度の動画にまとめてください。提出された動画を評価・審査（二次審査）し、審査発表会で各賞を発表します。

部門2

フードロス削減につながるアイデアに関し、その発想に至った経緯や実証結果（取り組み）などについて5分程度の動画にまとめてください。提出された動画を評価・審査し、審査発表会で各賞を発表します。

審査の視点

- 1 フードロスの削減という社会的な課題の解決に貢献するアイデア。
- 2 フードロスの削減に向けた「具体性」「実現可能性」「発展性」があるアイデア。
- 3 従来の発想にとらわれない独創性・創造性に優れたアイデア。

FAQ

- Q 応募グループに人数制限はありますか？
人数に制限はありません。
- Q 1校から複数グループ応募しても良いですか？
問題ありません。
- Q 同一人物が複数グループで応募することは可能
1人1グループでのみ応募可能です。
- Q 審査員はどのような人ですか？
フードロス削減コンソーシアム構成機関（北海道大学、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）、北海道立総合研究機構、セコマグループ）の職員・研究員等、および北海道庁に所属する職員が審査を行います。
- Q 応募は郵送でも可能ですか？
応募は電子メールで応募様式を提出してください。

スケジュール

提案書受付期間 ————— 部門1 1次募集
2025/5/30(金)17時必着
部門1 2次募集 及び 部門2
2025/6/30(月)17時必着

1次審査（書類審査）————— 2025/6月上旬、7月上旬

締切ごとに書面審査を行います。そのため予定されているグループ数に達した場合は応募を締め切る場合があります。部門1の採択グループにはプラチナ触媒を貸与しますので、触媒の活用アイデアを実証してください。

オンライン説明会 ————— 部門1 1次募集
2025/6月上旬
部門1 2次募集
2025/7月中旬

※プラチナ触媒の説明、実証方法のアドバイス等を実施します

採択グループによる実証期間 ————— 2025/12月上旬までに
実証してください

中間評価相談会 ————— 2025/10月(予定)

実証結果動画提出 ————— 2025/12/12(金)17時必着

2次審査（動画審査）————— 2025/12月-2026/2月中旬

採択グループより提出された動画の審査を行い、各賞及び審査発表会にて発表いただくアイデアを選出します。

審査発表会 ————— 2026/2-3月上旬

代表グループの取り組みおよび各賞の発表を行います。代表となったグループは、当日会場またはオンラインにて出席いただけます。
日時：2026年2月-3月上旬PM ※詳細は別途お知らせ致します。
場所：北海道大学 FMI 国際拠点 (<https://www.fmi.hokudai.ac.jp>)

表彰

審査により受賞者を決定し、審査発表会において表彰します。
表彰は、北海道知事賞、審査委員長賞、などを予定しています。

参照動画

プラチナ触媒の保存技術について

「フードロス削減コンソーシアム 第1回フォーラム」福岡教授講演
※開始後1時間2分頃から講演をご覧ください。



<https://www.youtube.com/watch?v=9lFJfSbDdRg>



フードロス削減アイデアコンテスト 審査発表会

「フードロス削減コンソーシアム 第5回フォーラム」での審査発表会
※開始後1時間13分頃から発表者の動画、発表会の様子をご覧ください



<https://www.youtube.com/watch?v=LgZlv9qXvjI>



情報について・・・

○応募書類に記載された個人情報は本アイデアコンテストの運営のために利用し、本人の承諾なしに目的外利用や第三者へ提供することはありません。○提出された動画は、フードロス削減を目的とするイベント等で公開することがあります。○アイデアの実証や実用化に向けて、事業者から提案があった場合は、あらかじめ応募校と協議します。